

## (行政視察・政務活動・議員研修) 報告書

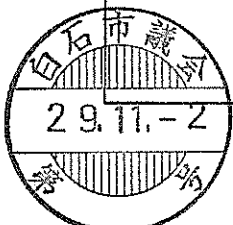
平成 29 年 10 月 2 日

白石市議会議員 志村 新一郎 殿

議員氏名 大野 栄光

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	平成 29 年 10 月 23 日 (月) ~ 10 月 24 日 (火)
調査・研修先	市長村議会議員特別心十一 (市長村職員中央研修所)
調査事項 (研修事項)	「地域防災力の強化」について
対応者・講師等 10月23日 13:30~15:00	講師 名古屋大学大学院環境学研究科地震火山研究センター 教授 山岡 耕春氏
概要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等)	<p>「巨大災害を知り、この美しい日本列島に生きる」</p> <p>日本列島は環太平洋にあり自然災害が多い。海洋科 が沈み込み、断層帯の地殻変動により、隆起した山が崩 沈降する場所には平地が崩れ、その時々には海溝型地震 、活断層型地震が起る。又台風や季節風、雨による 斜面崩壊・地すべり、土石流が起る。</p> <p>地震は地形を作る作用と災害は表裏一体である。 私達は過去の災害の跡に住んでいる。自然を完全に 制御することはできない。自然の仕組みを知り対応 するしかない。</p> <p>大きな災害は襲来頻度が低い。非常に大きな災害 には対処不能であるが小さな災害には防災対策 が可能である。</p> <p>柔軟な発想と応用力に富むしやかな防災 対策が必要だ。命を守り、生活をすくすく回復 させる。</p> <p>(覚悟を以て人生設計に取り組む)</p>



1. 再建費用を3代に渡り積み立てる。
2. 保険に加入する。
3. 住宅は耐震構造を強化。軽い建築物が被害を最少限に抑える事ができる。
4. 人命被害にあつては、落ち着いて安全な家の中に身を寄せる。その後避難をして情報収集を行う。

(災害は多様であり、経験だけに頼るはいけない)  
 条件において被害は異なる。  
 全ては自己判断で行動(我が身を守る。)

10/23日  
 15:15~16:45

<講師> 片田敏彦氏  
 東京大学大学院情報学環特任教授  
 群馬大学名誉教授

<講演> 「想定外に立ち向かう」地域を育るためには

△想定を超える災害：  
 ・大地震 頻発する豪雨災害・凶暴化する台風  
 ・近年各地で豪雨災害が多発しているのは...  
 ...日本近海の高い海水温が大きく影響している

・現行の行政主導による避難制度の限界  
 ・近年の集中豪雨による豪雨災害...  
 ...避難勧告等の発令が困難な事例が多発  
 ・地域単位で一律に発表する災害情報・避難情報への限界

(身に迫る危険を回避する「緊急避難」は住民個人の判断が重要である。)

◎平成29年7月九州北部豪雨における避難の事例  
 ・記録的な大雨の中、自宅周辺の「いつと違う」

河が川の色が茶色く濁っていた。普段見ている河道内の岩が  
隠れるほど増水していた)に為付ま、避難に役立てた。  
地区全体に避難の呼びかけを行い、地区全員が避難した。

△生き抜く力を育む防災教育

自然と共存しながら、自らを取り巻く人々と共に手を  
取るから生きる力を育む

…学校・家庭・地域のすべてが「子供を育む環境」と  
再認識し、それらの連携が重要。

△備えることを根拠にするには何が必要か～ さらさらの  
地域防災を考へる～

・自助・共助(住民)、互助(行政)が一体となり、  
自然災害に立ち向かう社会の構築

・地域・社会に災害に備える文化を築

世代間で災いを取り過す知恵も継承し、  
その知恵が災害文化として定着する必要がある。

10月24日  
9:00～10:00

〈講師〉 小池 洋恵 氏  
熊本市議会議員

〈講演〉「熊本地震から学ぶ初動、その日常と  
おとしいことは市民と立ち立場として想定外、の  
言葉は口が裂けても言えない」と。市長の機敏な  
判断と対応で給水車支援、避難所運営など  
他都市からの支援体制が早く仕組みたことを  
感謝しました。(か 避難所運営の体制は正しく  
もこの情報、共有連携が機能せず現場が混乱  
した。初動時、地域住民が着る身、着るまを  
集めて避難所では新たにゴミを創り必要が  
重要であり、その福祉的避難所運営を目指すことが  
重要だと思います。

まずは日常・初動、自助・共助で被害を大きく減  
らします。日常における危機意識、DIG、HUG

への防火訓練などの道具の訓練からシミュレーション、リスクを捉え被害予測をし、より早く行動できる市民防災スキルを高めること。重要なことは防災行動の基盤にある情報共有、連携の仕組みを本気で検討すべき。行政からの情報、市民からの情報を繋げる社会・システム構築が急務である。「初動編」を組み込んだ「市民向けマニュアル作成」から双方向に心を繋ぐ情報基盤を提案している。

10:15~12:15

1. ネットワークセッション

議会・議員にできることは何か  
～災害から大切な333を導き出す～

2. ティータイム

人と防災未来センター 主任研究員 中林 啓彦氏  
(うさぎ)

1. ネット

- 熊本市議会議員 小池 洋恵氏
- 陸前高田市議会議長 伊藤 明彦氏
- 大分市議会議員 分山 裕之氏
- 南国市議会議員 高木 正平氏  
(おん)

被災体験、  
地域防災、  
議会議員の  
行動指針等  
について。

伊藤 明彦氏、10分——  
陸前高田市は太平洋に面した、岩手県の東南端に位置。  
人口 2011年2月28日現在 24128人  
2014年12月31日現在 20392人  
気候 年間平均気温が約11度と東北地方中では比較的  
温暖で冬季も雪が少なく過ごしやすい。  
産業 森林水産業を中心とした一次産業が主。農業は中玉  
トウモロコシ、りんごが主要作物。水産業は養殖漁業  
が中心で、わか、サケ、アジ、サメが主。  
白砂青松の名勝、日本百景「高田松原」が自慢。  
震災後は奇跡の一本の松(高さ約27.5m幹直径約  
90cm樹齢約170年)

平成 27年 3月 11日 東日本大震災

< 災害(被災)状況 >

遡上高 17.6m, 死者、行方不明 1,759人

全壊 3806戸 大規模半壊半壊 240戸

一部損壊 3984戸

総世帯数 8069 被災計 8030

・死亡 1556人、行方不明 203人 (429.6.15現在)

・中一指定避難所 67箇所中 38箇所が被災

・避難所 92か所、避難人員 10,143人 (MAX)

・仮設住宅 2,168戸 (423.8月中旬に1=入居完了)

< 被害直後のインフラ等状況 >

・電気... 市内全域停電 → 5/26 復旧

・電話... " " 不通 → 外部との連絡手段、<sup>衛星携帯電話</sup> 復旧

・水道... 市内の90%以上に3水源地の津波浸水により断水

→ 関西広域連合、平泉町等に3給水支援。(5/28復旧)

自衛隊による入浴支援

・ガス、燃料... ガソリンスタンド全て被災、ガソリン、灯油の

確保困難 → 緊急車両への給油を優先

避難所を優先して、灯油を配給、道路開設

用重機への優先給油、仮設給油所の設置

が激増被災、1/10に給油が使用不能、供給不足

・金融機関... 全て被災、ATMが流失 → 預金が全て

お金が引き出せない状況

・市街地壊滅、市庁舎水没、災害対策本部

機能喪失

< 市(行政)の震災直後の動き >

3月11日 市災害対策本部: 設置(学校給食等)

初動: 安全確認、食料配給、救助活動

医療確保

2月28日 市2回臨時会

4月2日 菅総理来市 6項目要望

・食料、燃料等物資の安定供給

・317ラインの復旧(電気、水道、下水道、通信網、公

共交通券)

- ・仮設住宅の建設、医療・健康支援や生活再建に支援
- ・瓦礫の撤去や廃棄物等に南予支援。
- ・被災者の就業支援や水産産業の復興に南予支援
- ・地方交付税の増額など財政支援や行政機能回復に南予支援。

5/9 震災復興本部・復興対策局設置。5/6 震災復興計画第1次方針を決定 5/9 市議会全員協議会に被災状況等説明。  
5/26 電気復旧 5/27 水道復旧。6/27 ~ 7/9 被災河川調査(調査) 8月28日 同日震災復興計画検討委員会(委員55人)

~ 平成24年 4月1日 ~ 市役所の他置移転(当面7ヵ所) 市災害本部で平成24年末に概止。

< 震災直後の市議会状況 >

庁舎全壊のため議会の文書(会議録・議案書)も被災。 市内LANサーバが被災し、その文書データも消失。 課題、会議録検索システムは委託会社にデータ保持。 全国の公文書館等、4/17 立憲大党の支援で復旧

< 議会としての東日本大震災の検証 >

- ・議会の調査体制。→復興対策委員会設置(425.9)
- ・いざという時の備えについて議論。
- 対応マニュアルの作成と图上訓練の必要性を認識。
- ・復興対策特別委員会を確立。(426.4)
- 陸前高田市議会災害対応指針の策定。
- ” ” 対策会議設置要綱の策定。
- ” ” 行動マニュアルの策定。

10月1日 今山裕久氏、大分市議会議員、大分市議会防災会議と議会BCP(業務継続計画)について、南海117巨大地震を以て大規模災害に備え、災害時の本会議の招集、議案審議、採決に南予手順を明文化した。

大規模災害が発生した場合に平常時の防災会議の議会の災害時対策会議に移行する。 議会の活動は行政執行部の負担を軽減し、又

議員は住民の声を吸い上げる活動に専念すべき。

10月 高木正平(担任)氏 南国市議会議員

南国市では、災害に備え小、中学校の耐震化を終了。又、600m毎基、全16基の避難タワーも完成。市民の集いの場として利用している。

都市近くは空港。川が広い大地柄と条件が以下の為、40年来の姉妹都市であり、岩沼は沖又のふるさとである。